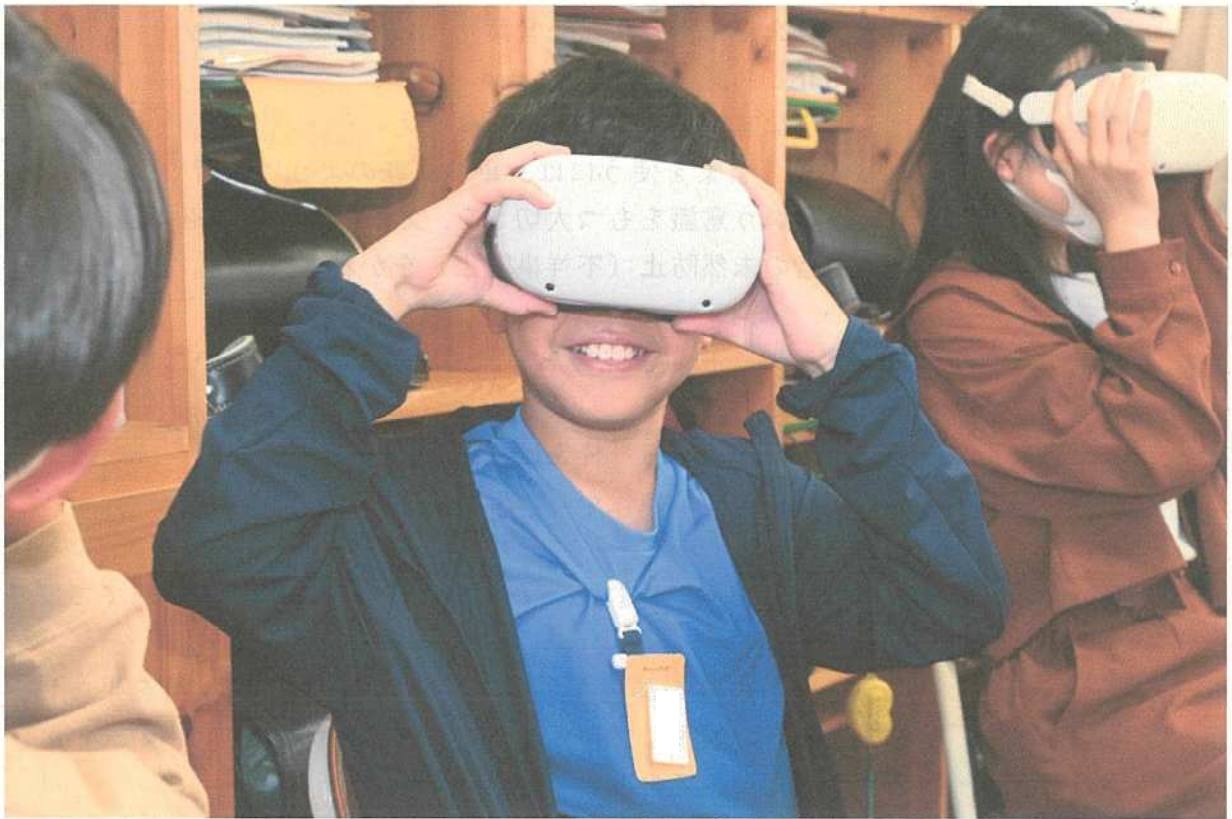


# 資料 1

令和6年度 第1回総合教育会議資料

## 令和6年度 高浜小学校経営の方針



令和6年6月27日(木) 14:30

## 【資料の主な内容】

### 1 教育目標（学校経営案より）

### 2 職員会校長資料（3回分）

① 4 / 1 職員に向けて目標を示しました。

- ・できる限り短いフレーズにまとめることを意識しました。  
『ずっと幸せ大作戦』

② 4 / 2 2 幸せな環境作りの一つの面「言葉」について2つのことを話しました。

一つ目 自分を支える言葉（杖言葉）をもつことのすすめ  
紹介と共有

二つ目 大切な言葉をつかう技術や心構え

本来、言葉を使うには、車の運転のように練習や資格が必要だという意識をもつ大切さを、文献を引用して紹介しました。  
暴言の未然防止（不祥事防止）をかねています。

③ 5 / 1 3 想像力を働かせ、物事の見方を変えるということについてプリントを出しました。

- ・9つの点のパズルから「枠をはみ出る見方」
- ・ケロちゃん危機一髪の絵から「枠にとらわれた見方」

④ 6 / 1 0 大河ドラマ『光る君へ』にあった枕草子誕生秘話に焦点をあててプリントを出しました。

- ・たった一人の幸せを願って生まれた作品が今もその役目を果たし、多くの人の心を魅了しているということについて記しました。

- ・授業力向上についての願いを内包しています。

教える技量、子どもを見とる力の向上は確かに授業力の要因ですが、最も重要なのは教員が教材を解像度高く読むことだと思います。

教科書の作品を解像度高く読む大切さに自ら気づけるよう、支援したいと思います。

### 3 学校だより（校長室より）

保護者・教員に向け、本校の教育目標や活動についてお知らせし、教育環境を整えること、授業力や学級力を向上させる意識向上の機会を設けています。本校の目標や活動を受容し共感する一助としたいと思います。

# Ⅰ 教育目標

## (1) 本校の教育目標

心身とも健やかで、たくましく生きる力をもつ子どもを育成する。

○思いやりの心をもつ子    ○健康なからだをもつ子    ○進んで学ぶ子

## (2) 経営方針

【目指す子ども像】

「(人・もの・ことに)主体的にかかわり、仲間とともに伸びようとする子」

【目指す教師(組織)の姿】

- ・日頃から子どもの変容を見逃さず、よさを見出せる「教師のまなざし」を磨き続ける。
- ・子どもの「学びがつながる」ように、1年の成長や6年間の発達段階を見通した取組を行う。
- ・教職員・保護者・地域の方とコミュニケーションを深めることで課題や目標を明らかにし、協働して、目指す子ども像の「日常化」を図る。

## (3) 本年度の重点目標

### ① 児童の主体性を育てる、指導部の取組の充実

- ・3指導部(学習・生活・健康)が提案する行事や活動が、児童の主体性を育てる活動となるように計画・実践していく。そして、目指す子ども像に近づくことができたか振り返る。
- ・一つの指導部の行事や活動で育った力が、次の指導部の活動につながるように計画・実践していく。

### ② 主題「自己を見つめ、よりよく生きようとする子の育成」に迫る授業力・学級経営力の向上

- ・道徳科を中心に主題に迫る授業づくりやその基盤となる温かな学級づくりに努める。また、そのための校内研修会や研究授業を計画的に行い、授業力の向上を図る。
- ・主題研究推進委員会と低中高学年部会が連携して研究を推し進める。
- ・教科担任制を進め、教材研究の軽減によって授業の質を高める。
- ・ICTを活用し、自ら学び、仲間とともに学びを深めたり広めたりできるようにする。
- ・各指導部から提案された行事や活動のねらいを受け、学年・学級にそった手だてや支援を考えて指導にあたり、次の取り組みにつながるようにする。
- ・学級目標を作り上げていく過程を大切に、みんなで目標に向かってがんばり、事後に振り返り、次につなげられる学級づくりを進める。問題があれば学級全員で話し合う場をつくる。高学年は、「学年訓」を掲げ、目標意識をもった学年集団をつくる。
- ・全校で「あいさつ」「異学年交流」等に取り組み、児童が自分から進んで人とかかわることができる学校づくりを進める。
- ・主体的に行動した子どもを認める場を設け、目指す姿が具体的に見えるようにする。目指す行動を広げ、互いに認め合える環境にする。
- ・楽しい学校づくりに努めるとともに、学校いじめ防止基本方針等をもとに、相談活動を充実させ、いじめの早期発見に努める。問題を一人で抱えず、関係者と相談し、解決する。

### ③ 組織力の向上を目指したミドルリーダーの育成

- ・学年主任や各分掌主任が、目指す子どもの姿や1年間の成長、6学年の発達段階をとらえた経営を行うことで、児童の学びをつなげるとともにミドルリーダーとしての力を高めていく。
- ・主題研究推進委員が委員会と学年部会のパイプ役となり、研究をリードする。
- ・学年あるいは全校での役割を学年経営案や教職員評価シートに明記し、自他ともに認識する。
- ・行事検討や学校安全、働き方改革等、学年主任として学校運営に参画する。

### ④ 目指す「高小っ子」を育てるため、家庭・地域・幼保中と協働する

- ・家庭学習や手伝いを通して、家庭での子どもの主体性を伸ばす。
- ・教科や総合的な学習の時間等では、学校側が必要とする支援を計画的に保護者、PTA役員、まち協等をお願いしていく。
- ・幼保中と異校種間連携し、12年間の学びを継続させる。

### ⑤ 働き方の改善を図る

- ・大事なことに時間をかけることができるよう、業務負荷の課題改善に取り組む。

## ◆R6年度学校経営のテーマ

## ずっと幸せ 大作戦

→ 職員・子どもが共に今も、将来も幸せであることを目指す

## ◎目指す幸せ

【1】短い時間の幸せ：うわあ！うれしい、楽しい、気持ちいい。感謝。

○与える（職員が子どもに、子どもが職員に、職員が職員に）

- ・一人一人が「自分には代わりがない、とても大切な存在だ」と知る『環境づくり』で目指す。

【2】長く続く幸せ：自分はえらい。よくやった。満足だ。

○仕組む・構想する（職員が）

- ・社会人として活躍し「ああ生きていてよかった」と思えるように「周りの幸せに配慮して、自分で調べ、自分で考え、行動した」という、『達成感を味わう体験活動』で目指す。
- 職員が、子どもから学んだと感じ、幸せになる。

## ◎お願いー先生方のお力が必要です。ご協力をよろしく申し上げますー

- ・テーマ『ずっと幸せ大作戦』に基づき、これまで同様、お一人お一人がその場所への向かい方を考え行動し、子どもが自分の成長に気づくようにしてください。
- ・「今日がどんな一日（年）になるといいか、どんな一日（年）にしたいか」を自分や子どもや仲間に関わり合い、語り合えるといいです。
- ・以下の方程式を参考にしてください。（稲盛和夫氏による）

$$\text{人生・仕事の結果} = \boxed{\phantom{000}} \times \boxed{\text{熱意}} \times \boxed{\text{能力}}$$

マイナス100～プラス100までの大きな幅がある

## ◎連絡

- ・校内を回りお邪魔します。写真を撮りブログ等で紹介することがあります。
- ・愛知県健康推進学校指定。健康指導部メンバーが推進委員。8年度表彰。指導部長は推進委員長、副委員長は養護教諭です。

## ◆R6年度学校経営のテーマ

## ずっと幸せ 大作戦

職員・子ども共に、今も将来も幸せであることを目指す

## 【目指す幸せその1】短い時間の幸せ

・「自分には代わりがない、とても大切な存在だ」と知る『環境づくり』で目指す、について

○今回は、『環境』の一つ、私たちを取り巻く「言葉」に焦点をあてます。

## &lt;その1&gt;支える言葉『杖言葉』の紹介

## ・紹介の理由

スタートして3週間ほど経ちました。先生方も子ども達も最初の緊張に比べたら少し気持ちがほぐれ始めたのではないのでしょうか。その一方で互いの理解はまだ十分進んでおらず、耳に入る言葉が心を傷つけてくる場面に遭遇するかもしれません。気持ちを分かってもらえないのは苦しく、幸せになろうという気持ちがしぼんでしまうかもしれません。そこで『転ばぬ先の杖』『転んだ時の拠り所』となる『杖言葉』をもつこと、それを増やしたり強くしたりして、自分で自分を励ますエネルギーにしてほしいと考えました。よかったら先生方の『杖言葉』も教えてください。今日、私をご紹介しますのは…

愛されずして沖遠く泳ぐなり

藤田 湘子しやうし

愛を獲得できない孤独な青年が一心不乱に泳いでいます。二十代の折、師である水原 秋 桜子みずはら しゅうおうしにあることがきっかけで疎まれてしまった若き日の湘子でした。

「秋桜子を離れぬと決めた以上は、この難関を耐えるほかなかった」と述懐しています。失意の中でふり絞るように生み出した揚句は、後に氏の代表作の一つとなりました。

どんなに辛い状況にあっても、泳ぐこと、つまり作句をやめなかった氏は、逆境を見事に乗り越えたのです。

『あなたへの一句』まゆずみ 黛 まどか著引用

## &lt;その2&gt;言葉の使い方について

・『ひどい言葉遣い』は『環境破壊』になってしまうことがあります。

相手のことを決めつけて

ジャッジする言葉に注意

車の運転では教習所にも行かず物を壊そうが人にぶつかろうが、自分の好きなように運転したいという主張は認められません。一方で言葉は目に見えないので、その危険性が気づかれにくい。本来は車のように使い方やテクニクなど一定の訓練が必要なものです。自分の発した言葉が暴走していきなにか定期的に振り返る必要があります。

学校の中では先生が走らせている言葉の車を子ども達は見ています。子どもと話しているときはもちろん、同僚や管理職、先輩の先生との会話も聞いていて「この先生はこんな運転の仕方をするんだな」「信号無視したな」などと感じ取っているでしょう。

『あなたを閉じ込める』のりたか 森山 至 貴著引用

## ◎連絡

・学級通信などを出される先生は、私にもいただけるとうれしいです。四役で回覧します。

### ◆R6年度学校経営のテーマ

## ずっと幸せ 大作戦

職員・子ども共に、今も将来も幸せであることを目指す

【目指す幸せその2】長く続く幸せ：達成感が味わえるよう、仕組む・構想する

早々の各委員会活動、学年、学級活動の仕組み作りをありがとうございます。また授業の中でも工夫して取り組んでくださっています。引き続きよろしくお願いいたします。

○今回は『前より様々な見方や考え方ができる』という小さな『成長感・達成感』を味わう素材紹介です。

<その1>パズル『枠をはみ出で』の紹介

この点を4本の直線を使って一筆書きでたどってください。ただし、同じ点上を二度通ってはけません。



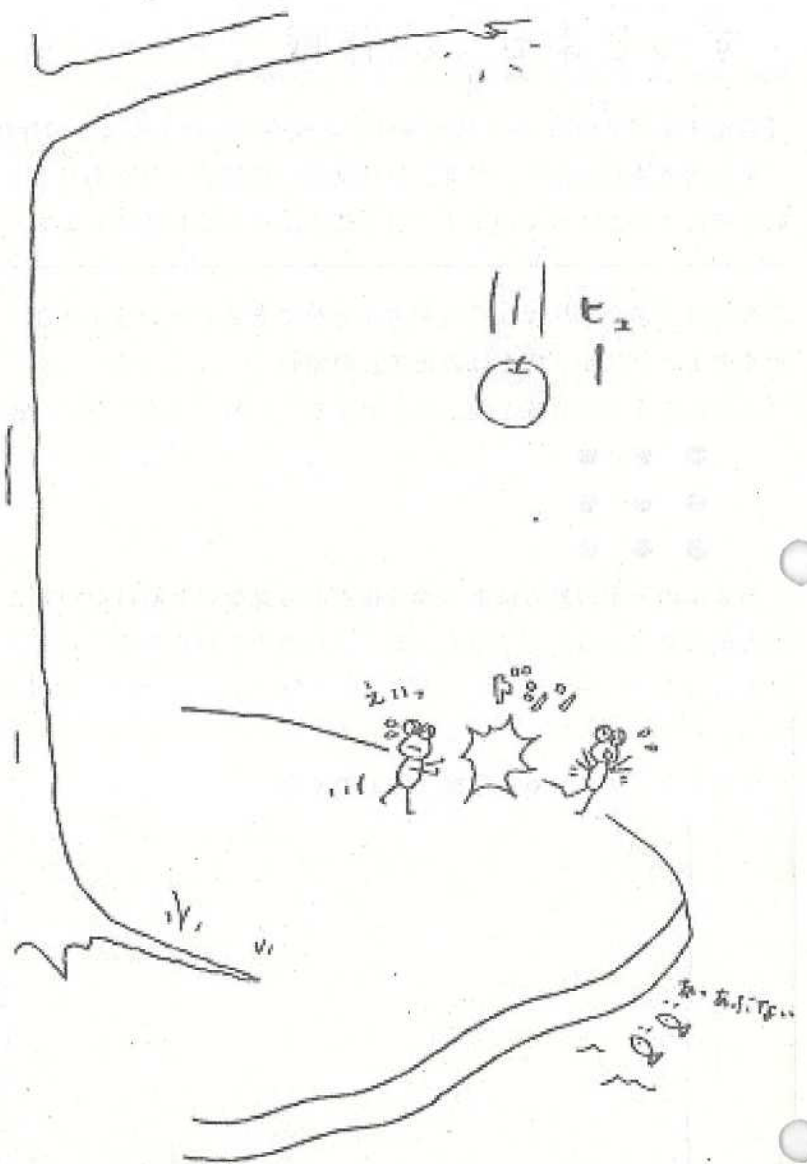
パズルの一番の魅力はあらゆる視点から見ないと解けないところです。行き詰まるのは問題をずっと同じ視点から見ているからでそんな時はほんの少し視点をずらして違う角度から考察するだけで謎が解けます。

枠をはみ出で ドラマ『アストリッドとラファエル 文書系の事件録』の中より引用

<その2>『ケロちゃん危機一髪』の紹介



### 11 ケロちゃん危機一髪



今回のテーマ

「**粹組**」ということ

**私** たちは、ある粋の中でもものごとを見ています。

例えば、この漫画の右頁では、乱暴者のカエルが、ケロちゃんを池につき落とそうとしています。左頁を見ると、彼は落下するリングゴからケロちゃんを救おうとしています。

このように、見る粋組みを変えると、同じ行為でも逆の意味さえもつてしまいます。

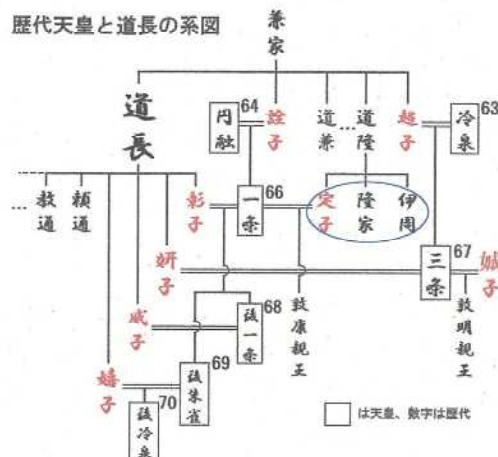
私たちがものを見ている時には、必ずある粋組みからものを見ているということを知ってはいけません。

○今回は大河ドラマの『光る君へ』に出ていた枕草子誕生についての紹介です。

たった一人の幸せを目指した『枕草子』の誕生について

春はあけぼの  
 やうやう白くなりゆく  
 山ぎは、  
 すこしあかりて、  
 紫だちたる雲の  
 ほそくたなびきたる

歴代天皇と道長の系図



◇有名な枕草子冒頭は、ただ単に景色の美しさを詠んだものではないと言われています。

枕草子は、清少納言が仕えた中宮定子（藤原道長の姪）に捧げた作品です。中宮定子は、個性的にして悲劇の人でした。

定子の生前は定子の心を慰めるために、定子の死後は鎮魂の思いを込めて書かれた作品です。そこから有名な冒頭の意味を考えます。

### なぜ、枕草子は、「春はあけぼの」で始まっているのか？

清少納言が枕草子を書き始めた時、中宮定子は絶望の中にいました（長徳の変：定子の兄弟が天皇家の人々（道長の姉＝一条天皇の母など）を標的とする暗殺行為を行い、断罪された事件。定子の兄は、実家に里下がりしていた中宮定子を頼って邸へ逃げこみ、罰を逃れようとした。中宮定子は兄をかばい身重の身でありながら盾となったが、家宅捜索の手は緩まず、京中の庶民までが野次馬化し邸が取り囲まれた。天井裏から床下まで探られ、寝室の壁を破るような騒ぎとなった。高貴な身分から犯罪者の家族となった定子は絶望し、自ら髪を切り出家した。その後、兄は捕まり京を追われ、追い打ちをかけるように邸は火災に遭った）四面楚歌の中、打ちのめされた定子の心の闇がどれほど深かったか、想像に難くありません。

通常、春といえば「桜」です。しかし、清少納言はあえて「春はあけぼの」と書きました。「あけぼの」は夜と朝の境目です。闇は定子を取り囲む闇を表していると考えられます。一瞬前はものの区別もつかない闇から、朝に変わる境目の時間をよみ、闇にようやく一条の光が兆す一瞬を差し出したのです。定子をいたわるように。

また、枕草子初段は「春」で始まり四季を順に眺め渡す方法がとられています。「春」で始まり四季を順に眺めわたす方法は古今和歌集の方式です。古今和歌集は天皇の命によって作られる勅撰和歌集です。

なぜ、四季を詠むのかというと、国の自然が天皇の御代の元平和に美しく整っていることを讃えるためです。

『枕草子』は、女性として最高の地位にある中宮の命令で作られ、中宮に献上する書物として、初段はこの世の安寧を見渡す記述で始まっているのです。定子のおかげで美しい世が始まります、という心を込めて。清少納言は、定子に捧げた象徴としての四季を詠んでいます。

さらに日、月、空、雲、霜の段で始まるのは、漢学の知識があることを示します。

漢籍（漢学の辞典のようなもの）は天のものから書かれるそうです。中宮定子は当時、男性貴族のものだった漢学の素養を持ち合わせた個性的な中宮でした。『枕草子』が天のものをちりばめたのは、漢籍の教養がある中宮定子のものであることを示すのです。

最後に、「春」の空にたなびく「紫だちたる雲」はめでたいことの起こる兆し、瑞祥です。また紫は高貴な色で、天皇家を指し、特に紫雲は中宮の暗喩です。春のあけぼのの空にたなびく紫雲は、世の太平の兆しであるとともに定子その人をさし、定子が闇を照らしこれから明るく輝くのです、というメッセージになります。『枕草子』初段は短い一段の中に何度も重ねて定子その人をもり込んでいるのです。

- ・斬新な文化を切り開いた後宮文化の指導者として
- ・その文化の賜である作品を献上される権威ある存在として
- ・和漢の素養をもつ才女として
- ・世の平和を象徴する紫雲＝めでたい兆しである中宮として

先日大河ドラマに、中宮定子と清少納言が過日の定子一家の輝きを懐かしむ場面がありました。そこで定子が、清少納言に向かって、かつての自分たちの輝きが清少納言の心に残っていたらそれはうれしい、というようなことを言っていました。「枕草子」は、中宮定子の作った文化、誰も真似することができないきらきらする文化が目につかぶように描かれています。たった一人の幸せを目指して作られた作品が1000年後の今もその人の鎮魂となり、その人を超えて多くの人を魅了することに心をうたれます。